

標茶町創生総合戦略 標茶町人口ビジョンを策定しました

本町では2011年（平成23年）に策定した標茶町第4期総合計画を基本に、関係する委員会や町議会、庁内における検討委員で議論を重ね、皆さんから寄せいただいた意見を踏まえて、2月22日に標茶町創生総合戦略と標茶町人口ビジョンを策定しました。

人口ビジョンでは、2040年（平成52年）の目標人口を6400人とし、この目標人口を達成するため、あらゆる施策を講じることとしています。

向こう5年間の政策目標や施策の基本的方向を定めた総合戦略では、短期的な展望として2020年（平成32年）の目標人口を7700人と設定し、さまざまな事業に取り組んでまいります。なお、この総合戦略は、見直しをしながら推進していきますので、意見などがありましたらお寄せください。お寄せいただいた意見については、今後見直す中で検討させていただきます。

標茶町創生総合戦略（抜粋）

重点戦略の主な施策・事業

基幹産業である酪農畜産業の振興

- ・ 根釧地区食肉加工センターの設置
- ・ 標茶町農業研修センター、しべちや農楽校の管理運営

安心して子どもを産み育てる

ことができる環境整備

- ・ 高校生までの医療費の無料化
- ・ 子育て応援事業

交流人口の拡大と雇用の場の確保

- ・ 標茶高等学校教育振興会補助事業
- ・ 地域間交流事業
- ・ チャレンジショップ支援事業

意見提出
問い合わせ

標茶町創生総合戦略・標茶町人口ビジョンは、左記係での閲覧（希望する方には郵送）または町ホームページ（アドレスは26ページ参照）で公開しています。

役場企画財政課企画調整係
（2階⑩番窓口 ☎4851
2111内線221）

基本戦略

主な施策

1 協働のまちづくり

目標 自治会加入率を
100%にする

◆住民総参加体制の構築

・広報広聴活動の推進

住民と行政が情報を共有できるよう取り組む。

◆地域活動に対する支援の強化

・コミュニティ活動の促進

各種地域振興事業などへの支援を図る。

◆適正な行財政運営の確立

・公共施設等総合管理計画の策定と推進

社会環境の変化に伴う公共施設の配置のあり方を検討する。

◆広域行政の推進

・広域連携事業の推進

釧路管内の各団体が展開する連携事業に参画し、本町のPR活動を実施するとともに、地域の活性化を図る。

2 住み続けたいと思えるまちづくり

「標茶に住み続けたいと思う」と考える人の割合を増加させる

目標

「標茶に住み続けたいと思う」と考える人の割合を増加させる

◆高齢者に対する支援体制の充実

・高齢者の生きがいづくり

自立した生活を送るために地域力を活用し、介護予防事業を推進する。

◆障がい者（児）に対する支援体制の充実

・障がい児への教育の充実

特別支援教育の充実に向け、児童生徒の状況把握に努め、適切な指導を推進する。

・障がい者の社会参加の促進

障がい者の就労の場の確保に向け、支援事業への支援に努めるとともに、新たな雇用の場の確保を図る。

◆子育て支援の充実

・子育て支援・子育て環境の整備

公営住宅における子育て世帯の入居換えを推進する制度の創設を目指す。

・幼児教育の推進

多子世帯の幼稚園保育料を減免し、経済的負担を軽減する。

・高校教育の確保

標茶高校の3間口を維持し、将来を含めて高校教育の拠点となるため、通学環境を改善し、生徒の確保に努める。

◆公共交通の確保

・町内公共交通の再構築

町内に存在する交通機関の再構築をすることにより、生活の足を確保する。

◆生涯学習活動の推進

・生涯学習の促進

各文化団体や地域サークルなどへの人的支援を行うことで、各団体の活性化を図り、高齢者の閉じこもり防止や健康の推進を図る。

◆地域間交流等の推進

・移住や定住の促進

地域の定住促進のため、町有地の有効活用を図る。

3 元気ができるまちづくり

目標 新たに創出する雇用者数を20人にする

◆農林水産業の振興と経営の安定化

・担い手の育成

しべちや農楽校を活用して、農業系高等学校などの学生の酪農体験を実施することで、酪農の理解者を増やすとともに、将来的な担い手の確保を図る。

◆商工業の振興と経営の安定化

・商店街の活性化

地域における買い物弱者対策として、出前商店街として複数商店が実施することにより、商店経営の安定化と買い物弱者を支援する。

・雇用環境の安定化

地域の活性化を推進するため、ICTを活用したサテライトオフィスなどの誘致や閉校施設を活用した事業展開を図る。

・就業などの支援

町内における就業機会の拡大を図るため、商工会と連携し、説明会や情報の収集と発信に取り組む。

◆観光基盤の整備と観光資源の保全

・観光基盤の強化と情報発信

観光振興の担い手の育成を図り、各産業団体のより緊密な連携の下、本町が持つ観光資源を利用した商品開発や情報発信を行う。

・受け入れ体制の強化

町内公共施設（観光施設を含む）などの案内標識の整備や更新を推進する。

4 みどりのまちづくり

目標 再生可能エネルギーを活用する事業所数を2法人にする

◆循環型社会の形成

・再生可能エネルギーを活用した取り組みの推進

家畜ふん尿や木質資源を活用したバイオガスパラントの設置を推進するとともに、環境に配慮した酪農畜産業の情報発信を行う。